

白川風土記

第二地

和書門			
三六	二九一八	函架	類
冊	號	架	類

內閣文庫			
一七四	二九一八	函架	和書類
冊	號	架	類
(七本)			

閣	8
489	

內閣文庫			
番號	和	29183	
冊數	36 ()		
函號	174	287	

地三七

内一〇九六〇號



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



白川風土記稿

城北六
箇村

六



内一〇九六〇號

周

川

月

土

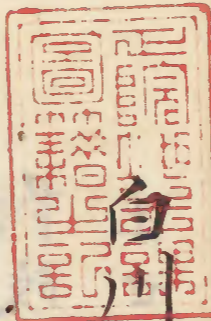
記

卷

之

六

風土記卷之六

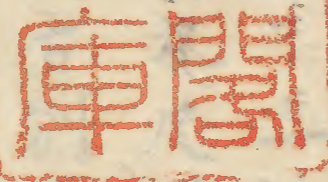


白川郡菟原庄竹原郷

大谷地村

村端

二枚橋新田



當城ヨリ北ノ方行程三十四町一間ニ在リ何レ
 ノ時開発セバ村里ト云フ詳ナラス村長サ南北
 一町十七間戸數十五軒西北ハ山ニ連リ東南ハ
 田取多シ北ノ方ニ阻テ夕田アリ東ノ方根田
 村境七十ト内ト云處迄四町奈村迄二十五町西
 方長坂村境朴木坂ニ至十八町奈村迄二十六

町南境城下田町分鳥草六十云處近十町余北ハ
方飯土用村境二救橋近十六町五十間村近七町
三十七間越後工ノ通路十レ氏驛場ニアラレ
八人馬ヲ継夕ツルノ役十シ
高札場一ヶ取村ノ西側ニアリ
官曰山川冷セリ、旋條目ヲ揚ク

松藁山

村ノ西牛房作りト云取ニアリ舊多ク松藁ヲ生
ス故ニ此名在リ時稔ラ今ハ名ノミニニシテ南ハ
生セズ

劔石坂

村ノ北九町五十一間ニ在リ登ル一二町ニシテ
竭ク半暖西ノ澤ニ高サ四尺長サ九尺横五尺余
ノ石アリ此石ヲハ子石トヨブ往古劔石駿河守
ト云モノ、館蹟ナリト云又源延尉ノ蹴劔タ
トテ新ク名ツケタリ氏云ハト、證トスル處室光
ノ口碑ニ存スルノミニテ是非ワキカタニサレ
氏從來坂名トナリ又ル故ニ二説ヲ挙テ後考ニ
具フ

川南門

村ノ西次右衛門谷地ト云處ヨリ出ツ下流根田
村ニ至テ高橋川ト名イフ細流ナリ

井堰橋

村ノ南一丁許ニ往還ニアリ次右衛門谷地ヨリ出ル細流ニ架ス石橋ナリ

堤二箇取

村ノ西二町余ニシテ廣窪ト云處ニ在リ方十間

余一ツハ村ノ北四町二十五間街道ノ傍牛房作

リト云處ニアリ方十五間余是ヲ養水トシテ悉

ク此村ノ田所ニ灌ク

秣場

次右衛門谷地

村ノ西三町余ニアリ方三町余**秣場**ナリ

壇

村ノ南一里塚

村ノ北七町五十一間ニアリ高廿五尺周廻六間

神社

愛宕社

社地東西四十間南北二十間

別當 向寺 正善院

村ノ東四町余ニシテ石階ヲ登ル二十間ナリ

石ノ小祠アリ此村ノ鎮守ナリ勸請寺ノ記

詳ナラス

鳥居高サ八尺幅六尺

牛頭天王社 社地東西七間南北三間

別當 向寺 正善院

村ノ東ハヅレニ在リ小祠ナリ左右ニ石燈籠ナリ

鳥居高サ七尺幅五尺

熊野權現社 社地 別當 向寺 正善院

村ノ西南ノ方ニ所余ニアリ 別當 小祠ナリ

鳥居高サ六尺幅五尺

端村

二枚橋新田

當城ノ北一里十五町余ニアリ戸數四軒居家ノ

前ニ田四反余アリ本村ヲ隔ツト十七町四十一

間前後村里ヲ阻ツテ遠ク數十間ノ曠野ニテ風

雪ノ難ヲ避ヘキ樹陰モナクハ冬ニ向テハ行

客ノ患モ少カラサルヲ憐ミ大里村ノ農夫吉右

衛門ト云モノ此趣ヲ訴訟シテ享味元年新ニ新

田ヲ開キ斬ヲ連子木ヲ樹テ遍ク衆旅ノ煩モヲ

除クトトハナリ又此處ハ本増見飯土用ニ村ノ

入會ナレト大谷地村ノモチ分トナレリ

白川郡筥原庄豆生田郷
飯土用村

當城ヨリ北行程二里五丁三十八間ニ在リ何レ
ノ時開祭セハ村里ト云ハ詳ナラズ村長サ東西
一丁五十四間戸數二十三軒南北ニ連レリ會津ハ
ノ街道ニシテ駅取ナリ東南ニ田處アリ東ノ方
外面ニテ十丁余西ノ方下羽太村境ニテ十八町
余村近一里北ノ方滑里川村境ニテ九丁十六間
村近十八丁五十八間南ノ方大谷地村境近二十

四丁四十七間村ニテ一里七丁三十七間

高札場一ヶ所
官ヨリノ山ノ川ノ飯土用川
ノ村ノ北側ニアリ

村ノ西ノ方二里余七曲ト云處ヨリ出ツ東南ヲ
流レテ村曠ノ養水トナル下流増見村ヲ過テ尺
子内ト云所ニテ隈戸川ニ合シテ沖田川トナル
川幅九尺余

橋梁
石橋

村ノ東南ノ方二丁三十六間ニアリ飯土用川ニ
跨^架ル長十九尺横八尺

井堰

古堤

村ノ西ノ方十丁余ニアリ方五十間余破壊シテ
今ハ水タラヌ

秣場

二行ヲ一行ニ書シ下クテ四字ノヨリ書ス

二箇所

村ノ南ノ方九丁余ヒツ澤ト云處ニアリ一ツハ
村ノ西ノ方十丁余七籠ト云處ニ在リ二ヶ所ト

山間ナル故ニ丁步詳ナラス

神社

鹿寫社

社地東西十五間
南北三十間

別當圓乘寺

ハタケテツク
下ニニ候

村ノ西北ノ方十二丁二十間夫ヨリ石階ヲ登ル

口ト十二間余ニシテ東向ニ小社アリ村ノ鎮守

ナリ謂ユル式内ニ載スル處白川郡七社ノ一ニ

シテ飯土用姫命ヲ祭レリト云事里老ノ口碑ニ

存スルノ三ニテ舊記等モナケレハ鎮座ノ来歴詳

ナラス何レノ時ヨリ鹿島ト祭り来リシトニヤ

猶後考ニ具フ祭り九月十九日

二基一二共三

鳥居 高サ七尺幅六尺是ヲ一ノ鳥居トス又一

ツ高サ七尺幅六尺是ヲ二ノ鳥居トス

愛宕社 社地方五十四間四方 別當圓乘寺

村ノ西ハツレニ在リ石階ヲ登ル三十間許ニ

シテ南向ニ小祠アリ鎮座ノ譯詳ナラス祭リ六

月二十四日

神明神社 社地東西三十一間南北二十間

別當大光院

村ノ西ノ方八丁余ニシテ東向ニ小祠アリ鎮座

ノ譯ワケヒラカナラス

鳥居 高サ八尺幅六尺

抱瘡神社 社地東西十間南北六間 別當大光院

村ノ北ノハツレニ在リ南向ノ小祠ナリ鎮座ノ

譯詳ナラス

牛頭天王社 社地五間四方 別當大光院

村ノ北ノ方ノ山上ニアリ南向ノ小祠ナリ勸請

詳ナラス縁日六月十五日

寺院

圓乘寺 境內東西十三間南北二十間

村ノ西ノハツレニアリ天台宗ニテ山號ヲ北林

ト云七寺ヲ圓來ト呼フ士列世良田長樂寺ノ末
山ナリ

後堀川院ノ御宇貞應年間慈鎮ノ開基ナリ其後住職ヲ

嗣モノナケレハ永祿年中精舎モツイ衰敝スセリ後寛永年

中ニ至テ慈眼ノ法弟道端ト云モノ越後一行脚ノ時此

寺ノ形勢ヲ見テ暫コ、ニ止リ廢タルヲ興シ絶

タルヲ繼キ修補ヲ加ヘテ再々舊トニ復シ赫々

タル道場トナレリ因テ道端ヲ中興ノ開祖トス

是ヨリ九世相續シテ故十カリシニ正徳年中ニ

至リ寺悉ク荒廢セシニ因テ能回ト云僧再興ノ

志願ヲ起シ己ニ工匠杖ヲ工凡時ニヤタツテ能

回頓ニ病テ没セリ尋テ其志ヲ立ルモ十カリ

ケレハ志願モ終ニ空シクナリ又是ヨリ長ク魚

住トハナナリ今ソノ寺蹟ニ小ナキ草庵ヲ結

テ徒ニ寺号ヲ存スルノ城下本町永藏寺兼帶本尊

阿彌陀如來長ケ一尺二寸木佛座像作詳ナラス

魚住ナリ故ニ本尊今ハ里正平藏ト云者ノ家ニ在リ

佛場

昆沙明堂

境内 東西三間 南北二間

別當圓來寺

村ノ西ノ方三丁余ニアリ石佛立像長ケ二尺寛

永年中圓乘寺開祖道端深ク信シテ勸請ス縁日
九月三日

古蹟

館蹟

村ノ西南ノ方六丁余ニ在リ高廿六丈余方三十
三間余ノ平地ナリ館主高德清元ト云モノナリ
ト云傳フ時代寺詳ナラス

人物

源四郎ハ貧農ナリ父母極テ老タルニ母ハ明テ

失シテケレハ起居ニテモ殊ニウトミジキニ細
ヤカニ心ヲ用ヒテ食ヲ進メ藥ヲ進メテ其患ヲ
慰ンテ神佛ニ禱リ或ハ牛引或ハ負テ寺詣テ
モ隣里ノ老婆ト共ニセシム父ハ母ヨリハ猶老
タレハ心モ毫ノ嬰児ノ如クナレハ母出レハ共
ニ行ンテナド云テ止ザレハ其心ニ違スシテ右
ニ引左ニ負テ共俱ニセシム晝夜ニ孝道ヲ盡ス
テ此一輩ヲ推テ知ルベシ農事ハ本ヨリノ業ナ
レハトテ父母ヲ慰スルノ暇ニモ懈ラスシテ秋
ノナリワイ負キ中ニモ貢税ハ人ヨリモ豊ニ納

ムル一年毎ニテ在リケル因テ青錢許多貫ヲ下
シ與テ之ヲ賞ス寛政七年十二月廿三日ナリ
免除地四字下ナリ

圓乘寺 鹿島社 愛宕社 毘沙門堂

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

岩瀬郡笹原庄隈戸郷

滑里川村

當城ヨリ北ノ方行程二里二十四丁三十六間ニ
在リ村長サ東西一丁余戸教十一軒南北ニ連レ
リ會津一ノ街道ナレハ驛所ニハアラス南ノ方
田處アリ東ハ方増見村地境鞍掛ケト云處ニテ六
丁余村近一里十八丁西ハ方上小屋村地境大持坂
ト云乘ニテ一丁五十間夫ヨリ二十四丈坂ヲ登
リ行竭坂又止處ヲ西村ノ境界トス口ノ坂上ヨリ村ハ
且ノ方二十二丁四十五間ヲ阻ツ北ハ方下小屋

村^地境長峯ト云取迄三丁余村ニテ二十七丁五十
六間南^方飯土用村^地境飯土用坂頂上ニテ九丁
四十二間村迄十八丁五十八間舊トコノ村^起
川^{小屋村}ノ^正ノ共ホリ^心力寛永年中丹羽長重當
城^{新築}ノ時力ヲ竭メ新田ヲ祭クモノアテハ城
ノ普請ニツイテノ諸役免許スヘキ旨命セシニ
因テ其時下小屋村ヨリ出テ新タニ^コノ地ヲ開
テ一村里トナセシト里左ノ口碑ニ殘レリ
高札場一ヶ所^取村ノ中程南側ニアリ
官^{ヨリ}山^川冷^ラル、^掟糸^目ヲ^掲ク

川

村ノ西ノ方三丁余小萱ト云所ヲ水源トシテ東
ニ向テ流ル村中是ヲ養水トシテ僅ノ細流ト入
窪^リ夕^北川名^モナシモ村居ノ前ヲナガレ、故テ
以テ前川ト云ヒ又脊戸川ト云ヒモ云下流増見村
ノ東ニテ隈戸川ニ合ス

秣場

湯澤

村ノ西ノ方十一丁余ニ在リ上小屋村入會ニテ
町歩詳テラス秣場トス

神社

愛宕社

社地方九尺四方

別當

下小屋村 正福寺

村ノ東北ノ山頭ニアリ小祠ナリ祭祀六月二十

四日勸請詳ナラス

熊野社

社地方四間^{四方}

別當

下小屋村 正福寺

村ノ西北ノ方一丁余ニ在リ方二間ノ萱葺ノ裡

ニ竝六尺^{四方}ノ祠ナリ村中鎮守トス祭祀九月九日

勸請ツマビラカナラス

鳥居高サ八尺幅六尺

人物

善八娘

佳牟

佳牟ハ表左ノ祖母ニ能ク孝行ナリケリ善八夫

婦モ母ノ下ナレハ疎ニ仕フベキニモアラサレ

氏小農ニテ作りモ乏ク多クハ傭作牧馬ノ下ニ

暇モナク毒モ農隙ニハ紡績機織シテ日々ノ営

ノ補ト成ヌ身ナレハ介抱モ心ノ尽ナラサリシ

モ佳牟ハ未夕年モ行カハレ氏父母ニ代リテ晝

夜^{トナリ}能祖母ニ仕テ其衰老ヲ慰ム其後祖母中風
ノ疾ニ卧シテヨリ介抱ニ心力ヲ盡ス一益曩昔
知リモ厚クシテ更ニ懈リ倦テス年ヲ経ル久
シキ遂ニ祖母モ木ニ就キケレハ慟哭シテ淚血
ヲ成スサレ十リ村老等感歎シテ有司ニ告ケレ
ハ遂ニ青蚨若干貫ヲ下シ與ヘテ賞譽ニ及ヘリ
寛政六年三月二十六日十リ

岩瀬郡筈原庄隈戸郷

上小屋村

該端

味戸内仙久内垣板倉十日市原所

當城ヨリ北ノ方行程三里十一丁二十一間ニ在
リ何レノ時開發セル村里ト云テ詳ナラス村長
カ東西二丁二十三間戸數三十四軒南北兩側ニ
連レリ會津ノ街道ニシテ驛處ナリ村ノ中程
ニ石橋アリユノ橋ヨリ西テ六角所ト云来由六
角石碑^{アハカリ}ノ条^{子ヒ来レルニヤ来由詳ナラス}ニ記ス東ノ方
不小屋村境^地下原ノ内
ト云所^{見ハ下ニ}迄六丁十五間村迄十五丁二十六間西ノ

此端村名録村ニ唯シ大字ニ居レシ
ニ行ニナリテモヨシ

方羽鳥村^地境西ノ入山北ノ入山ト云處、峯通^山ノ
境^山ト云處、迄二里十八町余村迄三里南^山ノ方、滑
里川村境^地大持坂ニテ十八町十四間村迄二十二
丁、四十五間北ノ方安養寺新田村境^地長坂ト云所
迄二十七丁七間村迄一里五丁西北ノ方後藤新
田^地境坦ト云處、迄三十丁余村迄一里十丁余村
高札場一ヶ所、一村ノ中程ニアリ、一ヶ所ニテ
官^{ヨリ}川^ルヘ^ル、^檢糸^目ヲ^指ク
山川^ノ權太倉山^ノ村ノ西ノ方一里二十二丁ニ在リ、高^サ百四十
四

丈周廻山續キニテ丁步詳ナラス北^ノ方ハ牧野
内村分ナリ何レノ時ト云テハ詳ナラサレ、往
古ヨリコノ山中ニ馬栖メリト云傳ヘリ、歸ケテ
權太黒ト云トナン、康平年中八幡太郎義家東夷
征^討ノ時、此山上ニ息^ヒシニ如何シタリケン、馬
ノ口トルモノ周章テ、義家ノ乗鞍ヲ忘レ置キ
ケルカ、^石ニ^コノ鞍化シテ石トナリタリケリト
テカクハ山ノ名トス、トモイヘリ、又承安年間伊
豫守義経吉野山ヨリ奥州ヘ微行ノ時トモイヘ
ト、徒ニ里差ノ口碑ニ存スルノミニテ證トスル

所^カ以^テコ^ラナ^ラスサレト源延尉ノ愛セラレタ
ル乘馬ノ名ヲ太夫黒ト云トイハルモアレハ
山ノ名ニヨル故モヤルナラン歟且鞍石ノ化
シテアルニ因テ山ノ名ノ文字モ権太鞍ト書ト
モイヘリ何レノ時奈何ナル人ヤラシ鞍ノ化石
ヲ見ントテ此山ニ登リ夕ヅ子ケレトモ更ニ見
ハサリケレハ
言ノ葉ニカタツ傳ヘシ石モ十クナノミナ
リケリ権太鞍山
斯クヨミナケリト云傳ヘリ將牧野内トイハル

村ノ名ニヨツテ考フレハ往昔ヨ、ニ天然ト山
生ノ馬アツテ時ニ乘シ牧ノ夕メシモアリシニ
ヤイヒ夕舊史ニモ見アタラスイ、ツタフル古
キ言ノ葉モナケレハ毫ナト、メテ後考ニソナ
フ
奥味ヶ嶽
村ノ西ノ方一里十八丁ハカリニアリ高廿九十
丈周廻山続キニテ量リカタシ権太倉ノ南ニツ
ラナル

隈戸川
下ニアリマ、ハクヘシ

限戸川
村ノ西ノ方二里余田ノ澤上云處ノ南ナル山ニ
澤ノ数九十九アリ此所ヨリ出ル水集ワテ川ト
ナレリ此数ノ澤アル處ヲ限戸山ト號ス故ニ河
名モコノ山ニ因テ起リ又郷名モ川ニ依テ立ツ
ト云村ノ養水ナリ下流下小屋村ヨリ増見村ニ
ナガレテ増見村ノ東ニテ滑里川村ノ細流合ス
夫ヨリ尺子内ト云處ニテ飯土用川合シテ沖田
川トナル是ヨリ高田領屬邑新庄村ニ至ル川ノ
徑リ七間許リ能因法師ノ詠歌ナリトテ云傳フ

限戸川
村ノ西ノ方二里余田ノ澤上云處ノ南ナル山ニ
澤ノ数九十九アリ此所ヨリ出ル水集ワテ川ト
ナレリ此数ノ澤アル處ヲ限戸山ト號ス故ニ河
名モコノ山ニ因テ起リ又郷名モ川ニ依テ立ツ
ト云村ノ養水ナリ下流下小屋村ヨリ増見村ニ
ナガレテ増見村ノ東ニテ滑里川村ノ細流合ス
夫ヨリ尺子内ト云處ニテ飯土用川合シテ沖田
川トナル是ヨリ高田領屬邑新庄村ニ至ル川ノ
徑リ七間許リ能因法師ノ詠歌ナリトテ云傳フ

凡八月間... 限戸山中九十九澤... 瀑布ナリ... 大瀧

橋梁

村ノ中程ニ有リ小橋ナリ此橋ノ境ニシテ西ヲ
六角町ト云限戸川ノ支流ニカ、ルニツハ村ノ

南二丁五十五間ニ在リ大橋ト云板橋ニテ長サ

六間幅二間限戸川ニ跨ル

井堰

大堰

村ノ北ノ方三丁余ニアリ限戸川ノ堰上テ下小
屋村田取十三丁余ノ養水トス故ニ下小屋村ニ
テ堰ヲ作ル

秣場

湯澤

村ノ南ノ方一里余湯沢赤仁田ト云處ニアリ東

西一里余南北十八丁余林場トス

神社

春日社社地東西北百五十間祝深谷兵庫社家

村ノ東ノ方二丁二十間ニ在リ本社南向ニ方

六尺舊トハ天兒屋根尊ヲ祭りテ永正年中深谷

伊賀ト云モ初テ斯ニ勸請シテ横宮大明神ト

仰ク宝曆年間吉田家ノ許状ニ因テ春日大明神

ト祭レリ本村端村ニ鎮守トス祭祀九月九日

拜殿南向ニテ東西三間三度南北二間

鳥居高サ一丈幅九尺

御前大明神小社ナリ

稻荷大明神小社ナリ

豊年大明神小社ナリ

三祠共ニ小社ナリ春日社ノ東ノ傍ニ並テ

天神社社地東西北七十間別當八龍寺

村ノ西北ノ方十四丁余湯本村街道ノ山ノ中暖

ニ小社アリ祭り六月二十五日何レノ頃勸請シ

シ夕ルヤ年代ニ詳ナラス

雷神社別當八龍寺

〇コニカクシ
一文字アケテ
下小社ナリ

上人天神満宮社八像ニハル小社ナリ祭り三月二十
四日勸請ノワケ詳ナラス

八龍神社地 方 三十間 四方 別當八龍寺

村ノ西ノ方一丁許ニシテ隈戸川ノ傍ニアリ小

社ナリ天正年間患忍ト云僧請雨ノ奇瑞ヲ得夕

ル處ナレハトラス此一社ヲ勸請スト云傳ハ

リ

愛宕社社地 方 五十間 四方 別當大光院

村ノ西北ノ方五丁許ニアリ社地 方 九尺 四方 將軍地蔵ヲ安置ス社ナリ内

立像ノ木像ナリ長ケ一尺祭り六月二十四日

勸請詳ナラス

鳥居 高サ六尺幅五尺

寺院

長澤寺 境内 方 六十間 四方

村ノ中程南側ニアリ曹洞宗ニテ山跡ヲ青龍ト

云フ高田領中寺村常在院ノ末山ナリ應永三年

本寺ノ僧源翁ノ法弟雲菴ト云モノ衆生濟度ノ

為ニ開基ス此頃野別那須野ノ原ニアリ殺生石

ノ人ヲ害スル患天下ニ聞ハケレハ

後小松帝ノ勅命ニ因テ道德知識ノ僧侶被野ニ至

リ石ニ向テ奇密ノ法ヲ施ストイ一凡皆后靈ニ
害セラレテ立處ニ没スト源翁コレヲ聞テ勅命
ヲモ待ス密ニ此野ニ至リ彼后ニ法ヲ施メツイ
ニ人ヲ殘クノ患ヒヲトメテ奇功アリケレ凡
勅命ヲニ夕ガレ科ニ因テ能州總持寺ヨリ擯出
セラレ尚テ没後四百年ノ勤氣ヲ蒙レリ故ニ年
ヲ經ルニ隨テ本山常在院衰敝シ末寺ノ差配
モシダイニ疎ニナリヌレハ末寺凡漸々ニ離レ
ケル砌リ此寺モ常在院ノ末ヲハナレ建永ト云
僧法縁ノ因ニテ以テ永祿年間高田領后川長泉

寺ヲ本寺トス
寢殿 東西七間南北五間三尺本尊釋迦如來木
佛立像長ク一尺三寸脇士普賢文殊作詳ナラス
庫裡 東西四間南北六間

觀音堂

長澤寺 寢殿ノ東側ニアリ方二間ノ堂ノ中ニ馬
頭觀音ヲ安置ス木佛坐像長ク一尺厨子入年代
作者凡ニ詳ナラス縁日六月十九日

八龍寺

境内東西十七間
南北二十間

村ノ中央ニ在リ真言宗ニテ山號ヲ明雲ト云ヒ

院号ヲ慈心ト唱フ城下年貢所龍藏寺ノ末山十
リ天正年中曾津ノ南山ト云處ヨリ患忍ト云僧
来リ此村ノ裏ニ草庵ヲ結ヒ居タリシニ盛晷日
ヲ經レ乍雨降ラサレハ水涸レテ村中渴ヲ患ヒ
土赤ク草木葉ヲ凋ムル時ニ患忍ニ詫メ請雨ノ
法ヲ行ハシメタルニカノ僧高嶽ヲ攀躋シ八大
竜王ニ祈誓シテ雨ヲ乞ヒニ黒雲東西ヨリ起リ
勃然トシテ降雨篠ヲ突カ如クナリケレハ村中
ハ云ニ及ハス近隣近郷トモニ患忍カ法徳ヲ称
シ祈願處ヲ建立セント斯ニ此一寺ヲ開基ス

客殿 東西六間三尺南北四間本尊不動
庫裡 東西二間南北三間
寛政十年正月災ニ罹テ本尊トモニ失セリ住職
ノモノナケレハ今ハ寺蹟ノ三存セリ

大光院

境内東西六間
南北十間

村ノ西ニ在リ修驗宗ニテ本山聖護院ノ末院十
リ天正年間今ノ鶴生村ノ端村高助ノ城主班目
信濃守没落ノ時息男幼稚ナリシヲ襁褓ノニ
介抱シテ下小屋村ノ内沓屋鋪ト云處ニ^{隠し居}諾テ成
長^リテ後修驗傳法ノ峯ニ入シ時本山ヨリ初メ

テ德藏院ト號セラル夫ヨリ後光榮ト云一ル僧
法力奇瑞ノ聞ヘアリケルニ因テコノ村ニ居テ
移シテ三藏院ト號スルニ其時ニモ
寔殿庫程棟東西三間南北五間本尊不動長ケ
一尺五寸木佛坐像春日ノ作

古蹟

女夫石

村ノ西北ノ方五丁許ニメ湯本村街道ノ西側ニ
相對シテアリ一ツハ高サ一丈周廻九間一ツハ
高サ七尺周廻五間南ノ方ニ田取アリ此處サ字

シテ女夫石ト云フ何レノ時ヨリカタ呼来レル
ヤ来由詳ナラス

六角石碑

村ノ西北ノ方四丁余ニメ六部塚ト云フ處ニア
リ高サ二尺六寸徑リ一尺四寸何レノ時ナルヤ
畑ノ中ヨリ掘イダシテ此處ニ建ツト云傳一リ
碑面梵字ノ形ナク存ストイ一尺磨滅シテ分ナ
カタシ碑陰ニ天文十七年八月トアリ碑形六角
ナリ何レノ人設ケ立タルトニヤ来由詳ナラス
此村半ヨリ西ノ方六角町ト唱ルルハ碑アツテ後

コレ下割ハシ

云欽町アツテ后云欽是モ又詳ナラス
館蹟

村ノ西北ノ方五丁四十一間ニ在リ高サ十八丈

余周廻山繞ニテ分チカタシ館主井上紀伊守ト

云モノナリト云傳フ此人白川結城ノ臣ニテ天正ノ頃ノ人ナリ

人物

下ニアル左何故コノハカリ
堂義久ハヨリニテナリ

農夫郡藏弟

組頭 佐傳治

久八

久八ハ性質朴ニメ兄ト共ニ能農事ヲ勤テ懈ル
一魚レハ兄弟ノ中予ノ如ク足ノ如ク睦シソゾ

アリケリ父ニハ早ク後レテ老タル母ゾ在リシ
ガ衰老ニ及ンテ家事ノ助ケダニ成ラサリケル
カ起居寢食ノ外ニテモ心カヲ盡メ意ノ如クナ
ラシム隣里ノ人々モ其性ノ篤實ニメ能老母ニ
孝ナルヲ感メ聲養子ニ請ヒテシズル者多シ
多カリケレハ彼ト云ヒ是ト云テ媒ノ舌車ニ財
物ヲ載セモ人シテ單ニ勸メケレト父ハ其辱
ヲ謝メ敢ハス兄ノ郡藏モヒタス、メニ勸ムレ
此固辞メ云ケルハ今也母モ極メテ老玉へハ兄
弟ノ力ナラテハ如何ニメ臥牀ヲ安ンシ玉ハシ

母ニハ齡ニ傾キ玉ハ幾クノ月日ヤ在ルベキ
又僕ハ未夕三十二ニ至ラサレハ母ニ飽ニテ仕
一奉リテ其後ニ何カノ厄ニ隨フトモ避カラサ
ルベシ只惟春秋ノ過行クニ付テモ母ノ齡ノ傾
キ玉フコソ憂ナレトテ涙ヲソ流シ又其志ノ篤
孝ナレニ伏メ兄モ其後ハ強テ諫メス又請モ
シケル者モモ聞カテニ感歎メ止ミケル此聞ヘ
踈ナラサリケレハ褒錢許多貫ヲ與ヘテ標識ス
寛政五年十二月二十二日ナリ

此名久ハノ上(出ス)

組頭 佐傳治

佐傳治ハ組頭ヲ勤メ累年誠實ニシテ怠ルコト
ク耕作ノ稼キニ心ヲ竭ス一衆ニコトタリケレ
ハ村中ニ遊民ナク皆佐傳治ニ誘ハレテ農業ヲ
ツトメ風俗隣里ニモ勝リケレハ其篤實ヲ
旌メ青錢許多ヲ與フ
明和三年
農夫 市右衛門
市右衛門ハ年九十ニメ養老扶持ヲ與ヘ農ヲ許
可メ其身ヲ終ヘシム九十一ニメ尚齒宴會ヲ設
テ其年壽ノ高キヲ賞ス寛政七年三月十五日



負八年九十ニメ養老扶持ヲ與フ文化元年正月
二十一日

負七年九十ニメ養老扶持ヲ與フ文化二年正月
二十一日

免除地 四字下ケテ

長澤寺 八龍寺 深谷信濃

産物 下ケテ四字ヨリ

蕨 獨活 路 紫蕨 炭 蘆簣

端村

味戸内村 三トウチ

當城ヨリ亥子ノ方行程三里三十丁四十三間ニ

アリ本村ヨリ十九丁二十二間成ノ方ニアタル

戸數六軒家並齊シカラス村居一丁南ハ山ニ

テ北ノ方家ノ前隈戸川ヲ阻テ、田處アリ

愛宕社 境内地 南北二十間 別當八龍寺

端村ノ東ノ方二丁許ニメ坪化ト云乘ニアリ小

社ナリ祭り六月二十四日

端村

仙久内 ヒシキウチ

當城ヨリ亥子ノ方行程三里三十丁十三間ニア
リ村長廿東西一丁余戸數十軒北ノ山下ニ纏フ
テ家十三齊カラズ本村ヨリ十八丁五十二間乾
ノ方ニアリ田處東西ニア計畝六丁南ノ山
寺院

常光院

境内東西十五間南北七間

村ノ西端ニ在リ當山孤嶽修驗宗ニテ三宝院ノ末
ナリ慶長年中僊海ト云僧會津ヨリ斯ニ来リケ

レ尺杖ヲ留ム一キカタモ十カリシ二年ニ出羽
列^國ノ湯殿^山ニ詣スル者ノ齋スル小屋アリケ^新レハ
其處ニ居ラシメテテ湯殿山ニテテノ先登ナリ
シ^行タリケ^レニ^後僊海ノ息常樂ト云モノ城下年
貢町龍藏寺ノ末ニ屬シ大峯ニ入シ時三宝院ヨ
リ初メテ常光院ト號セラレ
客殿庫裡共ニ東西五間三尺南北三間本尊不動
長ケ二尺二寸臺坐レ木佛立像作詳ナラス

佛場

虚空藏堂

境内方五間

別當常光院

村ノ中央ニアリ方三尺ノ窟ノ中ニ安置ス石佛
坐像長ケ八寸作詳ナラス拜殿二間ニ三間ノ懸
作りニテ石階アリ何レノ時ヨリ祭り未レルヤ
詳ナラス縁日六月十三日

端村 廻板倉

當城ヨリ西北ノ方行程三里三十二丁五間本村
ヨリ二十一丁止九間西北ノ方ニ在リ村長ケ東
西五十間戸數四軒家並齊ケラス東ノ方ニ後藤
新田エノ道アリ南ノ方田處ニテ東ソ方仙久内

二隣ノ西ノ方十日市ニ接ス

本林神社

熊野権現社

社地 境内方百間四方

別當覺法院

村ノ北ノ方二丁許ニシテ小社アリ勸請ノ年代
詳ナラス縁日九月九日
鳥居高サ五尺幅四尺

寺院

覺法院

境内東北西十四間

本山派修驗宗ニテ山ヲ醫王ト號ス聖護院ノ末

ニテ須賀川徳善院ノ属院ナリ慶長年間徳善院
ノ法弟賢永ト云僧此村ニ来リ原所ノ薬師ノ別
當トナリ一字ヲ開基シ聖護院ヨリ免許アツテ
覚法院ト號セラレ
客殿庫裏棟東西三間南北五間本尊不動長ク
一尺三寸木佛立像作詳ナラス

端村

十日市

本村ヨリ西北ノ方行程二十二丁二十九間ニ
リ村長サ南北二丁余戸数二十五軒西ノ方山ニ

傍テ家十三齊カラス東ノ方田處ニテ本村ニ接

井堰

堰

村ノ西南ノ方一丁三十間ニアリ長サ十七間余
隈戸川ヲセギアゲ廻板喜仙久内両處ノ養水トシ
テ田十八丁余ニ灌ク

神社

稻荷社社地東北西五間別當八龍寺

村ノ西北ノ方四十間余ニシテ小社アリ勸請ノ

年代詳ナラズ祭リ二月十日

鳥居 高サ五尺幅四尺

愛宕社

社地 東西三間 南北十間

別當八龍寺

村ノ北ノ方ノ丘ニアリ石階ヲノホル一二二十五

間ニシテ石ノ小社アリ祭リ六月二十四日

鳥居 高サ五尺幅四尺

端村

原町

本村ヨリ成ノ方三十一丁十二間ニアリ村長

東西二丁十間戸数十九軒西側ニ立テ養水ノ川

村ノ中央ヲ過リ細流ニテ隈戸川ノ支流ナリ南

ノ方ニ田取アリ北ハ山ニテ東ハ十日市ニ接シ

又南ノ田ヲ阻テ宇津野ニ隣ル

井堰

堰

村ノ西ノ方二十間余ニシテ隈戸川ヲ堰アケテ

九丁余ノ田處ニ灌ク

神社

森ノ權現

社地 東西三十間 南北十間

別當八龍寺

村ヨリ北ノ方四十間ニシテ小社アリ祭リ九月九日

鳥居高サ五尺幅四尺

愛宕社ノ次(書)ス 流不動堂社地東西五間 別當八尾寺

村ヨリ北ノ方四十間ニメ小社アリ祭リ時日定

愛宕社社地東西三間 別當八尾寺

村ヨリ北ノ方一丁余ニメ小社アリ祭リ六月二

鳥居高サ五尺幅六尺

佛場

葉師堂境内東西十間 別當覺法院

村ノ西ノ端ニアリ堂南北三十間 厨子入メ葉

師ノ安置ス木佛ニテ立像ナリ長サ七寸縁日四

月八日

人物

農夫

惣江衛門

惣江衛門ハ常ニ農事ニ力ヲ盡メ公田ノ餘澤ヲ

貧ラス只是ルヲ以テ好シトス一老母アリ極メ

テ齡ニ傾テ人ニヨラサレハ寢食トテモ成ラサ

リケルニ惣左衛門一ツ子ニテ厚ク勤メ篤ク養ヒ
テ寒暑ヲ經ルテ數年ニ及一リ人其孝ナルヲ賞
メ置ス因テ驚眼許^數多絡テ與一テ其行ヲ賞ス文
化元年六月十八日ナリ

端村

宇津野

本村ヨリ成ノ方一里四十二間ニアリ村長ナ東
西一丁余戸數十二軒家十三均シカラス南ノ方
田處ナリ東ハ原町ニ隣リ西ハ田ノ澤ニ接ス

井堰

堰

村ヨリ西南ノ方三丁許ニアリ隈戸川ヲ堰上ケ
テ村中ノ養水トシテ田五丁余ニ灌ク

神社

五郎ノ社

社地方十間

別當覺法院

村居ノ前ニアリ小社ナリ如何ナルニヤ録倉
権五郎景政ヲ祭り来レリト云傳フ

山神

別當覺法院

村ヨリ西ノ方四丁許ニメ小社アリ祭り九月九
日

人物

農夫

勘四郎

勘四郎ハ性質負實ニメ農事ヲ勵ミ産業ヲツト
 メケル故穀ノ類ニ貯モ少ナカラガリケレハ貧
 キモノニ分テ與ヘ危急ノ患ニテ防キケリ天明
 年間荒凶ニテ糧盡テ世上スベテ飢饉ノ患ニ苦
 シメル輩ハ償利息ヲケモトメス豊凶ニ融通ノ為カレ與ヘシ
 ケル故己レニ秘メケル貯ナク凡テ覺シテ窮
 民ニ施與ヘテ深切ヲ竭シケルユ一具篤實ヲ旌

之賞ヲ加ヘテ孔方若干ヲ與フ寛政元年

端村

田ノ澤

本村ヨリ成ノ方行程一里十三丁十二間ニ在リ
 家一軒西南北凡山連リテ東ノ方開ケリ田處僅
 ハカリアリ宇津野ハ十三丁余ヲ阻ツ湯本村ノ
 温泉一通フ道アリ此地山間ニテ耕作ノ稼モハ
 カバカシカラガレハ常ニ獸ヲ獵ツテ業トス

山川

聖ヶ岩

村ノ西ノ方湯本村へ通フ徑ノ傍ニアリ高サ五丈余横十二丈余ノ苔岩ナリ一々席^マ雄ヶ岩ト云アリ高サ七丈横十八丈共ニ栽^ツトシテ古木参差夕リ春ニ榮^ハシテハ躑躅ノ花ニ舊苔ノ緑ヲ欺^レキ秋ヲ興^シテハ丹楓古松ノ樹間ニ映ス四時ノ風景侘ニ異ナル勝地ナリ南ノ方小サキ流レアリ羽鳥村西ノ入川ヲ水源トス傍ニ不動ヶ岩ト云ナリ窟ノ中ニ不動ノ木像^{ヲ安置ス}アリ此處ニ高サ二丈余ノ瀑布アリ不動ヶ流ト號ス下流隈戸川合ス

岩瀬郡箕原庄富澤郷上小屋村組

下小屋村

當城ヨリ北ノ方行程三里十八丁ニアリ村内ノ小名瀧屋敷日籠^{ゴメ}和田西宿樋口^{トコノキ}宮澤大高内日照^{ヒテリ}田日和田九箇所ヲ合テ下小屋ト云フ戸數百八軒日和田ト日籠ト東西兩端ニ居ル其間二十六丁アリ瀧屋鋪ハ隈戸川ヲ隔テ九丁許西南ノ方ニアリ北ハ山ニソヒ南ハ東西一里ハカリノ田所ナリ屋並向背同シカラス四至ハ東ハ高田領町屋村迄二十五丁二十一間地境ニ二十二丁

二十一間西ハ上小屋村迄十五丁二十六間地境
工九丁十一間南ハ増見村ノ端村外面迄二里地
境字石窪ト云處ニテ二十丁許北ハ上大里ノ端
村丸山迄一里十八丁許地境ハ丹波ヶ館トテ連
山重疊草木蒙密ノ中ナレハ丁數知カタシ
高札場一ヶ所官ヨリ合セラルル小名西宿ト云處ニアリ四方工
ノ經界此處ヲ標トス標目ヲ掲ク
山川 隈戸川 村ノ南瀧屋敷ノ側ヲ流ル事上小屋村ノ條下ニ

アリ 井堰 五ヶ堰
樋口ノ下ニテ隈戸川ノ水ヲ堰キ長サ三十間許
アリ村往來筋ノ田所三百石ハカリ工灌ク
大堰
上小屋村ノ地内ニテ隈戸川ノ水ヲ堰テ當村第
一ノ養水トス
樋口ノ側天王ノ祠下ニアル者ハ地底一丈許ヲ

通ス源ハ北ノ方山淵ノ水ナリ樋ヨリ下流シ馬
場川ト云ヒ隈戸川へ合シ流ル此水村民汲炊ノ
為ニ設ク田所へハ灌カス
一箇所ハ前樋ヨリ四十間ハカリ東ニアリ馬場
川ノ支流ニメ東ノ方田所七丁許ノ養水トナル
村ノ小名樋口ハ此樋アル故ニ名ツク
秣場下ナリ四丁メ
村ヨリ北ノ方ニアル山ノ澤ナリ東西三十丁餘
南北ハ丁數知レス

神社

牛頭天王社社地東西六間南北八間 別當大林寺

樋口ノ北ノ山ニアリ石階ヲ上ルヲ三十間何レ

時勸請セルト云フ詳ナラス

社ニ尺四方雨霞東西二間南北二間五尺

鳥居 高一丈幅六尺五寸

八幡宮社地東西六間南北五間 別當正福寺

日籠ニアリ石階ヲ登ルヲ拾間許何レ頃ノ勸請

ナルニヤ詳ナラス八月十五日ヲ祭日トス

社小社ナリ

鳥居 高七尺幅五尺

星宮權現 社地七間四方 別當正福寺

日和田ノ東高田領町屋村ニ往來ノ北ノ山ニアリ石階ヲ登ルヲ十二間ハカリ何レノ頃ノ鎮座

ナルヲ知ス九月一日ヲ祭日トス

社小社十リ

鳥居高七尺幅五尺

神明宮 社地東西七十間南北六十間 別當正福寺

西宿ニアリ石階ヲ登ルヲ二十間ハカリ勸請年

代ノ事ハ詳ナラス六月十七日ヲ祭日トス

社二間四方

四ノ子アリ 熊野社 社地東西十七間南北十一間餘 別當大林寺

當村ノ鎮守ナリ宮澤ヨリ大高内へ往還ノ路側

五十間ハカリ北ニアリ神體ハ鑄物ニシテ形千平

圓徑二尺十ルモノ三枚アリ裡ニ永享五癸丑三

月二十三日トアリ勸請ノ年代ハ傳記ナケレハ

詳ナラ子氏裡書ニヨツテ其古物ナルヲ知ル社後

ハ大里村ノ内丹波館ニツ、キ山ヲ負テ前ハ當

所第一肥膏ノ田畠ナリ社頭檜杉松ノ巨木森然

相ツラナル九月十九日ヲ祭日トス

社東西一間四尺五寸南北二間一尺五寸

瑞籬 四間四方
拜殿 東西四間南北二間本社ノ地ニ比スレハ
地鼻キヲ二間許崖作ニメ樓ノ如シ下ハ石鑿高
廿九尺中ニ路ヲ通シ本社ニ至ル
石鳥居 高一丈一尺幅七尺
二ノ鳥居 高一丈三尺幅九尺
佛場

不動境内二十間四方

別當正福寺

瀧屋敷ノ南山ノ半腹ニアリ不動像本尊弘法大師ノ作ト云フ長一尺三寸木佛立像厨司入十

リ堂北面ニテ廣ク田野ヲ臨ミ寅ノ方ニ大里村ノ山丹波カ館ヲ望眺望當村第一ノ地眺望ナリ石階十間餘ノ高サアリ其下北ニ向ヘハ瀑布アリ一丈餘ノ高サナリ夏日此處ニ至レハ頓ニ炎暑ノ苦ヲ忘ル村ノ小名モ此瀧ニヨリ瀧屋敷ト名クト云フ六月二十八日ヲ縁日トス

堂 三間四方東向

大日堂境内東西二十七間南北二十一間

別當正福寺

日籠ノ北ノ山足ニアリ大日如來ノ像本尊行基ノ作作ト云フ。木佛座像長二尺三寸厨子入何レノ時

ヨリ安置アルト云フヲ知ス四月十四日ヲ縁日
トス

堂 三間四方南向十リ

藥師堂 境内七間四方

別當長慶寺

瀧屋敷ノ不動堂ノ後ノ山ニアリ富澤ノ郷最初

ノ佛場十ルニ因テ富澤藥師ト唱フ長八寸木佛

立像四月十二日ヲ縁日トス

堂 二間四方東向十リ

寺院

長慶寺 境内東西一丁餘南北二丁餘

西宿ニアリ曹洞宗ニノ城下關川寺ノ末山十リ

永祿三年電的ト云僧ノ開基ニシテ御名ニ因テ

富澤山ト号ス元龜二年關川寺四代笑翁清庵ト

云僧ヲ請メ開山トス今文化二年ニテ二百三十

四年ニ十ル

客殿 東西七間三尺南北五間三尺南向茅葺本

尊地藏木佛座佛像長八寸

庫裡 東西五間三尺南北六間三尺

衆寮 東西三間三尺南北五間三尺

白山社 奥行三尺五寸横二尺當山ノ鎮守也

愛宕社 東西二間南北二間三尺本地佛將軍地藏ヲ

安置ス甬道帶之馬止ニ跨ル木像ナリ長五寸往古ヨリ境内ニ

在リ六月二十三日ヲ祭日トス

鳥居 高八尺幅六尺

正福寺 境内東西三十間南北五十五間

樋口ノ西端ニアリ真言宗ニテ山号ヲ多聞山院

号ヲ寶塔院ト云フ江戸本所弥勒寺ノ末院ナリ

弘治元年祐尊ト云フ僧ノ開基ニシテ文化二年

ニテ二百五十年ナリ

客殿 東西八間南北五間本尊毘沙門長一尺五

寸厨子入

庫裡 東西三間南北五間

大林寺 境内東西二十七間南北九十一間

宮澤ノ内熊野ノ社ノ側ニアリ紀隆山ト號ソ本

山流修驗ナリ同郡須賀川德善院ノ末院ナリ傳記

等コトクク燒失ノ由來詳ナラス前ニ載タル熊

野ノ祠ノ側ニアリ故ニ別ニ本尊ヲ安置セズ

古蹟

館蹟

長慶寺ノ境内愛宕山ノ頂上ナリ館主真船大隅

守ト云フ者ナル由言傳フ何レ頃人ナルニヤ詳
ナラス

人物

彌兵衛

彌兵衛

彌兵衛ハ貧民ニテ困窮ノ中ニ長ナリケレ氏質
直ニソ業ヲ能勤テ人ニモ慈ニル、程ノ者ナリ
ケル老タル母ノ在リケルカ能ク孝養ヲ盡メ數
年ノ寒暑ヲ經タリ遂ニ母モ養ヲ易ルニ至リケ
レハ乳兒ノ喪ニ逢ヘル如クニテセシスヘモ十

クテ四五日ハ飲食モ口ニ入ラテ泣キニ泣キケ
ルヲ笑ヒ謗リテケル者モ在リケレ氏事ヲ求テ斯
クアリシニハ無クテ誠實ノ致ス所ナレハ漸々
ニ謗笑シケル者ニテモ感シ合ヒケル因テコレ
ヲ賞メ青銅許多貫ヲ下レ與フ寛政五年十二月
廿二日ナリ

農夫惣吉妻

也須

也須ハ夫惣吉ナル者癩ヲ病ムヲ三十年又一兒
アリ惣右衛門ト云此兒ヲ設ケシ始ヨリ惣吉ハ

惡疾ニ罹リケルヲナレハ婦女ノ一手ニハ農業
モハカクシカラ子ト努力シテ農時ニハ暑雨炎
風ニモ田畝ニ日ヲ消シ霜雪ノ寒キ夜モ夫ノ痛
苦痒腫ヲ憂ヒテ眠リモヤラヌヲ多ケレト
通宵ヲ介抱シテ膿血我身ニ及ヘト厭フ色ナシ
側ニハ兒ノ呱呱タルカ衣ノ薄キニヤ寒ニ堪ヘ
テ寤寐スルモ屢ナレハ其心ヲ盡シ形ヲ勞スル
モ一方ニハアラス斯シテ年月ヲ經ケレハ惣右
衛門モ長トナリ遂ニハ一家ノ農者トナリテ父
惣吉ノ喪ニモ懇ニ吊ヒケル皆是也須カ數十年

ノ艱苦ヨリ出テ、カリノコト久ナレハトテ之
ヲ賞スルニ青錢許多貫ヲ下シ與ヘ又寛政八年
十二月十九日ナリ

農夫

利八ハ固ヨリ困乏ニシテ農業モ立行カサル程ニ
零落シケレハ獨身ノヲナレハ生涯ヲ小金ニヒ
サキテ人ニ任セテケルカ性質柔和ニシテ眞實ナ
ル者ナリケレハ主ノ為ニ耕作ニ出テ、ハ餘カ
アレハ助ケテ人ノ田畝迄鋤耕ナトシ或ハ公許

争論ノ企ナト猥狂ナル者ノ促スヲ聞テハ徐々
トメ喻シ宥メ或ハ少年ノ惡輩人ノ女ヲ掠メ十
トスルヲモ亦喻メ遂ニ其身モ脩メテ奸風ヲ止
マシムルノ類今日ノ事ニ於テ真實ヲ專ラトセ
リ之ニ由テ漸々一村ノ惡風モ消メ只農事ニ力
ヲ盡スヲ最トスルヲニハ成リ又村長等ニモア
ラハ斯ク行ヒモナルヘキニ利ハカ振舞尋常ノ
ヲニ非サリケレハ之ヲ賞メ青銅許多貫ヲ下シ
與テ享和元年四月二十三日十リハ農夫ハ

十郎兵衛

十郎兵衛ハ窮民ナレハ遂ニ身ヲ人ニ質シノ十
年ノ限ニテ許多ノ金ヲ借り得テ舊債ヲ償ヒ主
人ノ為ニ粉骨碎身ノ農事ヲ勤メケレハ年ヲ経
ル中ニ新田十トモ起シテ徳分モ多カルニ主人
モ特ニ歡ヒテ常サベノ者ニモセテ心ヲ配リテ
使ヒケル六七年カ間ニハ人並三倍ノ農功モア
リケレハ其志ヲ感メ十年ノ券ヲ破リ七年ニテ
許シタルニ十郎兵衛モ厚ク其恩ヲ謝シ故里ニ
歸リケレハ人々モ其事ヲ傳ヘ聞ツ、志ヲ感シ

已カ分々ニ田畝十ト分千與ヘテケレハ晝夜ノ
暇十ク勉勵シテ又農家ノ舊ニハ復シケル伯父
夫婦ノ老テ疾ニ罹リヨルヘモ無キカアリケル
カ十郎兵衛我家ヘ呼ヒ迎ヘテ懇ニ養ヒ仕ヘテ
父母ノ如クニモテナシケル其誠實ナル行ヒ共
聞ヘ廣カリケレハ青銅許多貫シ下シ與ヘテ之
ヲ賞ス享和元年四月二十三日十リ
農夫七兵衛厄介
左武ハ夫ハ他國ニ行テ數年歸ラサリケルニ一兒

ヲ頼ミニ續^{族縁}モアレハトテ七兵衛ト云者ノ方ニ
寄食シテ年月ヲ経ケルニ農事ハ夫トニ代リテ
持分ノ田所ハ一畝モ人ニ讓ラテ能ク稼穡ニ力
ヲ盡シケル其勞苦推テ知ルヘシ其ヨリシテ後
夫^モ歸村シケレハ彼此取一カナヒテ家作十ト補
理シテ七兵衛カ方ヲモ離レテ夫ト共ニ力田ス
ベカリケルニ程無ク夫^モ病ニ伏シテ遂ニ起サ
リケレハ七兵衛モ捨カタクテ始ノ一ニモテ
ナシ置キ折リニ觸レテハ後夫^{ヲ向}メテ懇ニ云
ヒソ^スレケレ氏固ク辞シテ從スイカニモ一兒

五小神躰依方鏡 古真角村 増見村 ト。アレ其故ヲ知ラ

且是ヲ以テ推考シハ神鏡ニ因テ村名ヨリ起リトス

然レモ證トスルニ足ラス ルナシ 後考ニ具テ東ハ高田領中新城村

ハ二十丁許地境ハ狐壇ト云處迄十五丁許西ハ

飯土用村ハ一里十丁地境カカイ塚ト云處ニテ

一里三丁許巽ノ方高田領太田川村ハ一里余地

境博奕窪ト云取迄十三丁許北ハ高田領町屋村

ハ八丁地境迄六丁十一間

高札場一ヶ所 官ヨリ 山林村ノ中程北側ニアリ

山川 登ヤラル、控糸目ヲ掲ク

鷄峠 ト下村ニアリ

村ヨリ西十八丁ニアリ高サ二十丈許周廻山繞

ニテハカリ難シ何レノ頃ナルヤ此山ニ雞棲ケ

ルトナリ因テ山ノ名トス今ニ此山ニ登テ鷄ノ聲

ヲ聞モノ存ル時ハ必ス死スト云傳フ何ノ故ナルヲ知ラス

増見川

水源ハ 上小屋村ノ生 隈戸川ナリ村名ニ因テ川ノ名トス

又村ヨリ東ニ至テ端村尺子内ノ前ニテ飯土用

川ニ合ス是ヨリ下流沖田川ト云事ハ上小屋村

飯土用村ノ條下ニアリ

井堰

新堰

村ヨリ西十八丁十七間ニアリ長サ三間飯土用

川ヲ分^堰テ此村第一ノ養水トス

長戸口堰

村ヨリ乾ノ方三丁許ニアリ長サ十間増見川ヲ

分^堰テ養水トス

秣場

種入

村ヨリ西ノ方十丁許ニアリ山間ノ澤ニテ丁

歩知カクシ秣場トス

立ケ澤

村ヨリ南ノ方六丁許ニアリ東西五丁許南北一

丁許亦秣場ナリ

壇

狐壇

村ヨリ東高田領新城村ノ地境ニアリ何ノ故ニ

名付ルト云テ知ラス

神社

八幡宮

社地東西三十間南北五十間

別當大城院

村ノ中央ニアリ此宮ハ永正年間當取ノ館主和
 知駿河守一慶館内ニ勸請ノ鎮守トス示シヨリ
 後コノ邊鬪戦止トキナク宮ハ兵燹ニ罹テ燒亡
 ス此時一婦神躰ヲ火ノ中ヨリ拾得タルニ唾ト
 ナリ且後狂人トナリシヨリ秘メ拜スルヲ許サ
 ス別當タル大城院タモ代々是ヲ拜スルトナリ
 館主ハ戦死シ土人離散メ神躰恙ナシト云レ
 崇敬スルモノモナクハ神威自ラ衰フ然ルニ天正
 五年新城村ノ館主須田近江守ト云者信仰メ
 山上ヨリ今ノ社地ニ遷シ造営メヨリ村民鎮守

卜仰ケル修補也ニ處其後延宝年間本多家傳領ノ時
 故ヤツテ新ニ造営セシヨリ今々如少村民尊崇
 古ニニサレト
 此處ナリ祭リ八月十日ナリ

本社 一間四面市二重楠椽葺神躰依方鏡此神鏡
本文ニ見ヘタル 婦女ノ火中ヨリ拾得タル物ニシテ
斗ヨリ秘メ拜ス見ルヲ許サレト云レ是ヲ
拜スル因テ書スハ尺寸其形容ナクハシカ
 記録ニ因テ書ス

拜殿 東西五間南北二間葺葺
 一ノ鳥居 石ナリ高ナ一丈幅八尺石ナリ以テ造ル
 二ノ鳥居 高ナ一丈幅七尺亦以テ造ル

愛宕社 社地東西五十間 別當大城院

村ヨリ西六丁許三アリ神躰石像長ク一尺二寸
馬止本安置地則勝軍地藏ヲ安置ス祭リ六月廿四日

社石祠二尺四寸面東向

鳥居 高七尺幅五尺

牛頭天王社南北五間

別當大城院

村ヨリ西二丁ニ在リ祭リ四月十四日十リ

社 小社十リ石階三十間

鳥居 高廿五尺幅四尺

別當真珠院

村ヨリ南五丁許村持ノ山ニアリ祭祀十ニ

社 小社十リ

佛場

正觀音堂境内東西七間

別當福正寺

村ヨリ北一丁許山ノ半暖ニアリ本尊像ハ本尊茶澄大師

ノ作ニメ咏知駿河守一慶ノ守佛本尊十リ長ク一尺

四寸木佛立像厨子入縁日四月十七日十リ

堂 三間四面南向

虚空藏堂境内東西五間

別當福正寺

村ノ北裏ノ山岩谷ト云取ニアリ本尊像長ケ八寸木
佛坐像厨子入往古ヨリ安置ストイ一氏由未詳
ナラズ縁日四月十二日ナリ
堂二間四面南向
寺院

福正寺 境内東西三十間 南北四十間

村西ノ端ニアリ當寺開基ハ永正十一年和知駿
河守一慶慶一作經死テ法諱ヲ福正寺殿曰山大鏡大
居士ト云此人ノ菩提ノ夕メ一字ヲ建立ニ方鏡
山福正寺ト歸ス本郡大村松林寺ノ弟子守的知

僧尚ヲ請メ開山トス則曹洞宗ニメ松林寺ノ末山
寺草創ニリ文化當丑年迄星霜二百九十一年ノ佛

域ナリ

客殿 東西七間南北五間南向茅葺本尊釈迦如
來長ケ一尺七寸木佛坐像

庫裡 東西二間三尺南北六間

鐘 一口高サ二尺五寸經一尺八寸客殿ノ軒ニ

鉤ル

真珠院 境内東西八間 南北六間

村東ノ端ニアリ山ヲ八幡山ト云真言宗ニメ高

除ハシ

田領白川郡小田川村宝積院ノ末寺ナリ旧記ナ
ケレハ開基ヲ始事實詳ナラズ
客殿庫裡ツシ一棟トキ東西トキ五間三尺南北三間南
向ヲ建ル處ノ小院ナリ本尊ハ薬師如來長九
寸銅佛坐像

大城院

村ノ中程ニアリ本寺聖護院ニ本本山流修驗ハ
幡宮ノ別當ナリ何レノ頃開基スルト云テ詳ナ
居宅東西七間南北三間本尊不動明王ヲ安置

城山

村ヨリ北二丁許ニ在リ取入谷ナリ高サ十二丈
許周廻山繞ニテ知カタミ山上東西六十間南北
五十間許ノ平地アリ是結城家ノ旗下和知駿河
守一慶ノ館蹟ナリト云ツテ村民コノ処ヲ城山ト
云一慶ハ永正年間ニ戦死スト八幡宮ノ縁起ニ
アリト云氏何レノ軍ニヤ詳ナラス事ハ八幡宮
及ヒ福正寺ノ條下ニアリ八幡ノ舊地ト云此山ナリ

人物

農夫 勘四郎

九十二ノ養老扶持ヲ與フ天明六年六月十五日

十リ養老ノ五羊御三輝奈ノ大御書ヲ奉

免除地

福正寺 八幡宮

端村

外面

當城ヨリ北行程一里三十三丁許村ヨリ西北六丁

四十七間ニアリ村長サ東西一丁四十間戸數十

西軒北ノ方山ニ傍ラ家ナミ均シカラス田處ハ

村ノ東西ニアリ飯土用川ノ下流ヲ養水トス

秣場

鬼ヶ澤

村ヨリ申ノ方六丁許ニ在リ山間ニテ丁歩ハカ

リ難シ秣場ノ大御書

神社

庭渡大権現社

社地東西七間南北五間

別當大城院

村ヨリ北二丁許ニアリ勸請ノ年代詳カズ
村ノ鎮守ニメ祭祀ハ九月九日
社ニ尺四面南向

鳥居 高廿九尺幅六尺

愛宕社 社地東西三十間 別當大城院

村ヨリ申ノ方二丁許ニアリ 本地 神躰勝軍地藏石 ヲ安置ス

以テ造石像長ケ一尺二寸祭り四月廿四日ナリ

社石ノ小社ナリ

鳥居 高廿七尺幅五尺

端村

尺子内村 シヤクシ

當城ヨリ子丑ノ方三里許村ヨリ寅ノ方十一丁

十一間ニアリ村長サ南北八十間戸數十軒東側

ニ並ヒ夕ツ田取ハ村ノ西北ニ在ツテ東南ハ山

續キナリ

井堰

真岳堰

村ヨリ未ノ方一丁二十間ニアリ長サ十間幅四

間沖田川ノ流ヲ堰テ當取殘石ノ田處ニ灌ク

何の故三名付ルト云
佛場

大日堂 境内東西五間 南北六間 別當大城院

村東ノ裡山ニアリ木佛坐像長五寸縁日四月

八日ナリ

堂二間四面西向本尊長五寸木仙座像

端村

道山村

當城ヨリ子丑ノ方三リ二丁許本村ヨリ東ノ方

十四丁三十間許ニアリ村長サ東西廿十間戸數

西軒北ノ山ニ傍テアリ村ノ南ニ沖田川アリ

佛場

不動堂 境内東西五間 南北三間 別當福正寺

村ヨリ翼ノ方五丁許ニアリ長ク二尺石佛座像

縁日三月三日ナリ

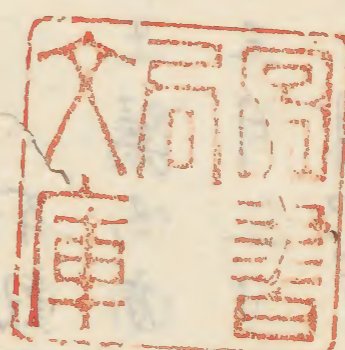
堂二間四方西向本尊長五寸石佛座像



物... 後... 月... 下... 之... 子... 大...

大... 院... 書... 院...

書... 院... 書... 院...



此... 書... 院... 書... 院...

書...

書... 院... 書... 院...

書... 院... 書... 院...

